



## 事務部長就任にあたり

国家公務員共済組合連合会 名城病院事務部長

鷲尾 東道

令和2年4月1日より名城病院に着任いたしました、鷲尾東道(はるみち)と申します。

国家公務員共済組合連合会へ入職してから、気が付くといつの間にか30数年が経過しておりました。

その間、連合会本部では、総務系・経理系・医療系の部署を経験させていただいたのち、大阪に在る連合会の病院へ9年半赴任しておりました。在任中には近県にも足を延ばし、唯一無二の趣味であるお城巡りを堪能しておりました。この度、念願がかないまして当院にて働かせていただくことになりましたので、休日には愛知県より東側に位置しているお城巡りができれば良いなと思っておりません。

現在、着任してから3ヶ月が経過するところですが、着任時から感動と驚きでした。まずはホテルと見間違ふかのような外観、12階のレストランに足を踏み入れると目の前にそびえ立つ名古屋城下の眺望に感動!!

しかるに美しい外観に相反して、築19年

経過による建物各所の老朽化に伴い年々増加する修繕費用、医療機器・備品などに関しましても大事に使用されてきたおかげか?経過年数が長くなっている品々の多さにも驚かされました。

事務職員として病院で働くうえで、一番に考えることは自院の職員が気持ちよく働けるよう環境を整備することだと考えております。そのことにより、患者さんにも喜んでいただける病院にすることだと思っております。

今後は、職員の皆様のご協力を得ながら、計画的な医療機械の入れ替えと修繕を行ってまいりたいと思っております。

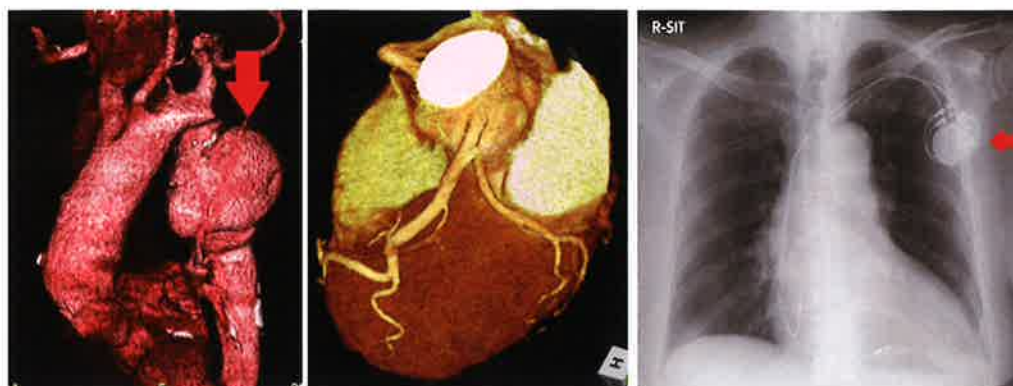
地域の先生方からも様々なご意見やご要望をお聞かせいただき、アメニティの充実を図りつつ、これからも地域医療のために少しでも貢献できるよう頑張ってまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



## 胸部心臓血管外科

市川 誠一

胸部心臓血管外科医長



画像①

画像②

画像③

心臓の手術を行い、引き続き術後の管理を維持していくにはさまざまな関係部署の協力が必須です。手術に関しても病棟、手術部、麻酔科、集中治療部などの関与があります。

一方、手術に至るまでも同様です。当科の手術症例対象は胸部（肺、胸腔疾患、外傷）、心臓、血管（大動脈瘤、末梢血管、透析用シャント血管）が含まれます。

患者さんは、肺であれば呼吸器内科に受診され、そこで診断の後、手術適応として当科に紹介されていらっしゃる方です。同じように心臓や血管の病気であれば循環器科で診断の後、受診されることとなります。また、透析用シャント血管の作成、狭窄、閉塞に対する手術やカテーテル治療では腎臓内科が判断して紹介となります。



画像④



画像⑤

というわけで自分の科で外来から検査、診断、手術というながれになるのは、ペースメーカー交換、外傷や下肢静脈瘤など限られた疾患になります。

このように単独ではあまりお役に立てない科です。実際の外来はどんな患者さんがお見えになるかといいますと、ほとんどが再来の方です。

内容を御紹介しますと手術後早期で管理が必要な方、当院の他科にかかっており当科の外来も同時に受診される方、人工弁置換術後などで薬物コントロールが必要な方、術後定期検査として3～12か月に一回受診精査をされる方、動脈瘤や動脈狭窄で経過観察が必要な方がほとんどです。

手術後に全員が当科で通院していると外来がパンクしてしまうので、特に事情のない方については御紹介して下さった診療所、お近くの診療所に通院することをお勧めしております。

その際にも、創部の異常を認めた場合や普段と変わった症状のあった時には遠慮なく当院を直接受診することも歓迎しております。

医師二人で外来、病棟、手術を行っておりますので、すべて御希望をかなえることは困難な部分もありますが、これからも地域の胸部・心臓・血管の手術を担っていくつもりでおりますので、よろしくお願い致します。

## 胸部心臓血管外科紹介



# 脳神経外科

河合達巳

脳神経外科部長

# 脳神経外科紹介

今年はコロナウイルスの影響で病院受診を控えられる方が多いようです。

ところが当院では例年になく慢性硬膜下血腫の手術が増えています。くも膜下出血とは違って一般にはなじみのない病名ですが、脳外科で最も手術数が多い病気で、一般外科の「盲腸」に相当するようなものです。

病気と言っても怪我がもとで生じることがほとんどで「外傷性慢性硬膜下血腫」が大多数です。夜間にトイレに行こうとして転倒、玄関先で段差につまずいて転倒、酔って階段を転落、などの後に2ヶ月くらいたってから頭痛、手指の不自由、歩行障害などの症状が生じる病気です。

頭蓋骨と脳との隙間に血液がじわりじわりとたまってくるので、量が少ないうちは止血剤や漢方薬の内服で経過をみて自然治癒を期待しますが、量が多いと手術が必要となります。

術式は局所麻酔で頭蓋骨に1 cmくらいの孔を開けてたまっている血液を除去して洗浄するもので「慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術」という名称です。手術そのものは30分くらいで終わります。

人は二十歳を過ぎると徐々に脳が萎縮するようですが、頭蓋骨の大きさは変わらないので脳と頭蓋骨との隙間が年をとるごとに広がってきます。

その隙間に血液がたまってくる病気なので、高齢者で血液をサラサラにする薬を飲んでいる方に生じやすいようです。

また、お酒をたくさん飲まれる方も脳が萎縮しやすく、酔って怪我をすることが多いためにこの病気になりやすいようです。

環境整備をしてできる限り転倒・転落をしないように気を付けて生活してゆきましょう。



図1

左側の脳がゆがんで、皺が見えなくなっています

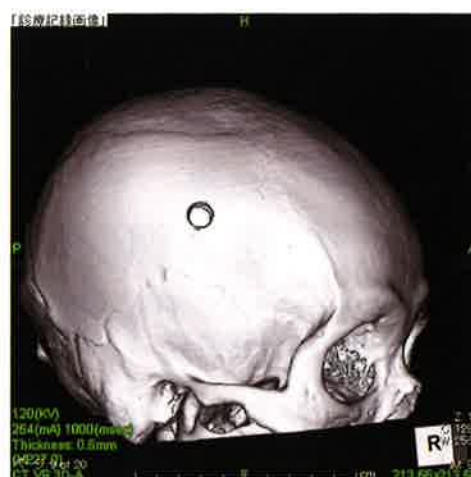


図2

頭蓋骨にドリルで穴をあけて溜まった血液を除去します

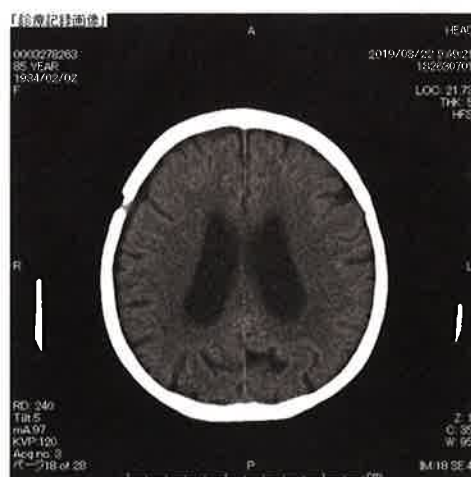


図3

脳のゆがみが消失し、皺が見えるようになっています

## Emergency Life-saving Technician

## 救急救命士の病院実習へのご協力をお願い

当院においては救急救命士が知識・技術を習得、維持、向上するための病院実習の受入れを実施しております。病院実習は以下の要領で実施しますので、皆様のご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。



1. 実習者は救急救命士の資格を有していること
2. 実習者は事前に十分な教育訓練を受けること
3. 実習は、観察能力、安全・清潔管理能力、生命の危機状況への対応能力等の向上のための見学、介助、静脈路確保、薬剤投与、基幹挿管などの実施
4. 実習は、医師の厳重な指導と管理のもとに実施され、患者さんの安全を確保します。
5. 実習に際して、安全な実習の遂行が出来ないと医師が判断した場合には、即座に当該実習を中止します。
6. 患者さんが実習を拒否しても、その後の治療及び処置に不利益が生じることは一切ありません。



## 新入職医師紹介

宜しくお願ひいたします



## 糖尿病・内分泌内科

渡会 敦子 医師  
わたらい あつこ

糖尿病・内分泌内科部長  
(令和2年7月入職)

## 腎臓内科

森 佳子 医師  
もり よしこ

腎臓内科医長  
(令和2年9月入職)

## 脳神経外科

小倉 浩一郎 医師  
おぐら こういちろう

脳卒中センター長  
(令和2年10月入職)

## 外科

関 崇 医師  
せき たかし

外科医長  
(令和2年10月入職)



10月になり、いよいよ季節は秋本番といった雰囲気になってきましたね。紅葉を見て季節の移り変わりを感じる人も多いのではないのでしょうか。春が桜ならば秋は紅葉と四季折々に映し出す景色は美しいものです。名古屋市内には様々な名所がありますが、名古屋城では毎年ライトアップなどもされ、たくさんの方が訪れています。私も仕事の帰り道で名古屋城周辺を通るので「芸術の秋」として紅葉の美しさを堪能し、金シャチ横丁では「食欲の秋」を存分に楽しみたいと思います。



<http://www.meijohosp.jp/>

## 名城病院診療等のごあんない

## 診察受付時間

新 患 午前 8:30 ~ 11:30

再 来 午前 8:00 ~ 11:30

## 休診日

土・日・祝日・年末年始(12/29~1/3)



・ 時間外および休日の診療は救急外来にて受付しています。事前にお電話でご相談の上、お越しく下さい。

・ 人間ドック、その他専門ドックのご相談、ご予約は総合健診センターで受付しています。

〒460-0001 名古屋市中区三の丸1丁目3番1号

☎052-201-5311 FAX 052-201-5318